

集中するってどういうこと？

かがやき教室に通ってくる子には、集中することが苦手な子がいます。常にソワソワ動いていたり、立ち歩いたり、何かの音に反応したり、外を見てしまったりと、今しなければならないことがあるのに、他のことをしてしまうことがあります。

これでは学習した内容が身に付きません。そこで、集中力をつける学習をします。

そもそも「集中する」というのはどういうことでしょうか。かがやき教室では「集中する」を「今していること以外のことはしない」と定義づけました。

けれども、

「集中して。集中というのは他のことをしないってことだよ。」

「今はプリントのことだけ考えるよ。」

などと言っても、なかなかできるものではありません。

そこで、様々な集中トレーニングに取り組みます。

例えば、

- ・聞いた数字を書く。(＋1、－1をして書く。)
- ・聞いた言葉を書く(言う)。
- ・聞いた言葉からきめられた言葉を抜いて書く(言う)。→「か」抜き言葉・「からす」は「らす」になります。
- ・聞いた数字(3～7こ)を言う。
- ・聞いた数字を反対から言う。→17462なら26471。

などです。

これらは、他のことを考えていたり、他のことをしていたりしたらできません。正確に聞き取り、考え、書いたり言ったりしなければなりません。このようなトレーニングを繰り返し、集中力をつけていきます。

かがやき教室の子どもの様子を見ていて、

「体験したことのないことはできない。」

ということに気がきました。そこで、「集中すること」を体験させるようにしたのです。短い時間から始めて、徐々に集中する時間を長くしていきます。そうすると、だんだんと長い時間集中することができるようになります。ある程度集中できたら、

「今が集中しているってことだよ。」

と教えます。できるようになると、トレーニング以外の場面でも集中できるようになります。

繰り返し体験させることで、自然に集中力をつけることを目指します。



10月15日～10月25日の予定

さんのかがやき教室の学習は

月 日 () 時間目

月 日 () 時間目

です。

